

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度第 3 回茨木市文化振興施策推進委員会
開催日時	平成 28 年 2 月 19 日 (金) (午前・ 午後) 1 時 30 分 開会 (午前・ 午後) 3 時 20 分 閉会
開催場所	市役所南館 3 階 防災会議室
議 長	出口委員 (委員長)
出席者	安藝委員、飯嶋委員、後藤委員、出口委員、松本委員、森 委員、 山野委員 【7 人】
欠席者	木村委員、栗本委員 【2 人】
事務局職員	大西市民文化部長、田川市民文化部理事、上西文化振興課長、 庄田文化振興課長代理 岡田まち魅力発信課参事、大野まち魅力発信課魅力発信係長、 高橋川端康成文学館長 【7 人】
開催形態	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 / <input type="checkbox"/> 非公開
議題 (案件)	(1) 文化事業等 (2) 文化芸術推進市民会議 (3) 福祉文化会館耐震診断ほか (4) その他
配布資料	(1) 次第 (2) 説明資料 (3) 参考資料

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>只今から、今年度第3回茨木市文化振興施策推進委員会を開催いたします。</p> <p>最初に委員の出席状況を事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>委員は全員で9名ですが、木村委員、栗本委員は本日ご欠席の連絡をいただいております。本日ご出席の委員は7人、過半数の出席をいただいておりますので、茨木市文化振興施策推進委員会規則第6条第2項により、会議は成立しております。</p>
出口委員長	<p>それでは、これから案件の審議に入ります。まず、案件について事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の案件は、次第にもありますように、(1)といたしまして、文化事業等、(2)文化振興推進市民会議、(3)福祉文化会館耐震診断ほか、案件以外に何かありましたらということで、(4)その他となっております。</p> <p>まず、一つ目の案件である文化事業等についてであります。文化振興ビジョン第2章のほうに市の文化的特性に記載しています豊富な文化資源のひとつとして川端康成があります。茨木市とのかかわりや、文学館の事業について川端康成文学館館長から、そして、文化振興ビジョン第4章の文化のまちとしてのブランド形成や情報発信に関連しまして市の魅力発信を所管するまち魅力発信課から、市の魅力発信について説明いただきたいと思っております。</p> <p>これらの説明を踏まえた上で文化振興ビジョンの取り組みである郷土への愛着心の形成や文化のまちとしてのブランド形成、そういった部分についてご意見等いただければと考えております。それでは、まず川端文学館館長から説明をいたします。</p>
川端康成文学館長	<p>お手元の資料の中で川端関連のものとして、資料1川端康成文学館の事業等について、文学館のパンフレット、川端康成ゆかりの地ガイドマップ、現在文学館で開催中の企画展「川端康成と少女小説」の案内チラシを配布用意しておりますので、そちらの方を随時ご覧いただきながら説明します。</p> <p>1. 川端康成と茨木の関係</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>2. 茨木市立川端康成文学館（会館の経緯、主な展示と所蔵品）</p> <p>3. 川端康成文学館の事業及び業務</p> <p>4. 平成 27 年度の事業</p> <p>川端康成文学館長の説明を受けてのご意見・感想がありましたらお願いします。</p>
森委員	<p>2点ほどお聞きしたいと思います。まず1点は、4番の事業の中でギャラリー企画展をされていますが、谷敷氏ほかの作家は川端との何かかかわりのある作家なのでしょうか。</p>
川端康成文学館長	<p>直接、川端とかかわりはありませんが、たとえば谷敷氏の場合は川端が源氏物語に関心を持っていたということで、谷敷氏が源氏物語を読まれて、源氏物語の世界をイメージした作品を作られ、それを展示する。それに合わせて文学館の方ではテーマ展示を源氏物語の世界に設定いたしまして関連を持たせました。奥氏も、川端が非常に深く興味を持っていた三条西実隆という室町時代の歌人の和歌を中心に作品を作られまして、そちらの方を展示するという形で、全体として川端、源氏物語、そしてギャラリーでの展示ということで関連性を持たせて今年の秋は展示を行いました。</p>
森委員	<p>どうしてお聞きしたかということ、現在、京都の細見美術館で「春画展」を開催してしまして、東京の永青文庫で大変な入場者がありました。私の同僚が最近、ウィークデイに行ったが超満員らしいです。何でもありと言う訳ではないのですが、インパクトのある企画をされ、展示をされますと入場者も増えますし、そしてそれが結果的には文学館の PR になります。細見美術館はコレクションの本来の展示が趣旨だったのでしょうが、関西だけではなく全国的に名前が知れ渡っていくように思います。そういう思い切った企画があってもいいのではないかと思いましたが、お聞きしました。</p> <p>もう一点は、これだけの事業をなさっているわけですが、学芸員以下の組織はどのような状況にあるのでしょうか。</p>
川端康成文学館長	<p>館長 1 名、学芸担当 1 名、事務担当の臨時職 1 名、受付担当の臨時職 2</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
飯嶋委員	<p>名という体制で運営しております。</p> <p>このような施設は、人の力が非常に大きいですし、新しい事業を新しい企画、視点で展開することは人の力だと思います。専任の学芸員の方がいらっしゃるわけでありますが、あわせてその学芸員をサポートするような組織をきちっとできている、できているとは思いますが、是非その充実を図っていただきたいというふうに思っております。</p>
松本委員	<p>非常に大きく事業を展開されていて驚いたのですが、トータル入場者の数、館内に来られている状況はどのようなものか。</p>
川端康成文学館長	<p>入館者数は、三年前までは1万を超えていましたが、一昨年が9千人、昨年度が8千人代ということで減少傾向にあるのが現状です。展示や企画を工夫するということが一番重要であると考えております。</p>
後藤委員	<p>海外からの旅行者向けのアピールはあるのか、またあればいいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
川端康成文学館長	<p>海外にも川端ファンは多く、海外からの来客も目立っています。現在、館の方としましては、総合案内冊子の英文版を発行しています。ただ、徐々に海外からの観光客が全体として増えていますので、そういった方が館に来られることも徐々に増えていくと思います。それに向けて何らかの対策は必要ではないかと思っています。</p>
後藤委員	<p>京都と関空の間なので、街を見てもらうきっかけになるのではないのでしょうか。</p>
川端康成文学館長	<p>京都、大阪、関空で川端に興味があるからついでに足を伸ばすという方もいらっしゃるので可能性はあると思います。</p>
出口委員長	<p>確認事項として、市の直営の施設と受け取っているのですが、それで間違いはないのでしょうか。大変感激もし、驚いたのは、昨年これだけの事業をされていて、すごく頑張っているということが今回よくわかりました。これは30周年記念という特別な事情があったからこれだけの規</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
川端康成文学館長	<p>模のイベントをされたのでしょうか。</p> <p>今回は特に 30 周年ということで、このような冠をつけていますが、基本的には例年行われています。</p> <p>来年度以降も行っていく予定をしております。</p>
出口委員長	<p>8 千人、9 千人という入場者数ですが、茨木市内の学校教育、小中学校、あるいは高校の団体というのはどのぐらいいらっしゃるのか。</p>
川端康成文学館長	<p>今年度に関しては、茨木市内の小中、団体という形での来館は特にありませんでした。</p>
出口委員長	<p>それは団体だと会場が狭いであるとか、対応がとれないということからでしょうか。</p>
川端康成文学館長	<p>そういうわけではありません。夏休みの企画の時には小中学校の方にチラシを配布して PR を行ったりしていますが、特別に団体での見学はありませんでした。</p>
出口委員長	<p>率直な印象ですが、川端康成の存在も大きく、これだけのことをされているので、茨木市としては勿体無いのではないかと。そういう企画戦略を立てるのは館長なのか、茨木市の方なのか、よくわからないのですが、是非こういう場所があってこれだけ現場の方が頑張っているから、みんな何かいい形のアイデアを出してもらえればと思います。</p> <p>我々の時代には、教科書に川端康成が載っていたし、文学史などにも必ず載っていたが、今の中学、高校にも当然教科書等に載っているという理解でいいのでしょうか。</p>
川端康成文学館長	<p>以前は大体高校の教科書などに「伊豆の踊り子」が載っていましたが、時代の変化もありまして、背景の理解が難しいであるとか、表現の問題等で教科書採用というものが難しくなっているという状況があるようです。文学史の教科書などでは、必ず川端は出てくるが、中高の教育現場で文学史まで詳しく出来る余裕はないというのが実情だと思いますので、以前に比べますと学校で川端作品に馴染むということは少なくなっている</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>ると思います。</p> <p>茨木市の財産でもありますし、現場の館長もこれだけ色んなことをされていますので、みんなでは是非、アイデアを出し合ってもっともっと、入場者数も10倍ぐらいにはなしてほしいです。大きな目標を掲げてみんなで頑張っていければと思います。</p>
飯嶋委員	<p>宣伝をされるということは素晴らしいことだと思います。渋谷でNHKが高校生にインタビューをしていたことがあり、日本とアメリカが戦争をしていたのを知っていますか？という質問に対して「そうだったんですか？」と、こういうことを知らない時代になってきています。そういうことから、川端康成に対して、今のような積極的な宣伝で埋もれていかないようにしていただければと思います。</p>
出口委員長	<p>ありがとうございます。それでは次の議題に移ります。それでは事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>川端康成文学館長は館での公務があるため退席させていただきます。</p>
まち魅力発信課	<p>改めまして、まち魅力発信課でございます。本市は平成24年から26年度末まで約3年間をかけて、今後10年間のまちづくりの大きな方針となります第5次総合計画を作成いたしました。その中で、これまで本市ではあまり取り組んでこられなかった市内、市外を含めてまちの魅力を積極的に発信していこうということ、最近世間でよく言われている言葉ですが、「シティプロモーション」に取り組んでいこうということを総合計画に書かせていただいております。それに併せまして、昨年4月にまち魅力発信課という新しい課を立ち上げ、取り組みをさせていただいております。平成27年4月の機構改革により企画財政部に設置された新たな課であります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. シティプロモーションについての説明 2. まち魅力発信課の今年度の具体的な取り組み
出口委員長	<p>市全体の取り組み、振興ビジョンの取組の観点からの色々なご意見ご感想をお願いします。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
安藝委員	<p>茨木音楽祭の実行委員の場所が全然なく、会場もなく、今まで出来ていたところができなくなってしまいました。市役所で会場を貸すというのは難しいと思いますが、市民主体のイベントを盛り上げるための動きは考えておられるのかどうか？</p>
まち魅力発信課	<p>市民主体のイベントですが、今までの広報誌もそうですが、行政施策を出すというのが主でしたが、今年度はフェイスブックでまちネタをこちらの方でさせていただくような取り組み、カレーサミット茨木の飲食店での取り組みなどみなさん楽しみながらやっておられるのを載せさせていきました。</p> <p>我々の課としましては、それを発信するというところで、今までにないような市民のみなさんのことも出来る限り、発信できるようにしていきたいと思っております。</p>
安藝委員	<p>文化振興課としてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的に茨木音楽祭の話がありましたが、それぞれ施設を所管するグラウンドであれば、スポーツの関係の部署、公園は公園の部署など、色んな部署がありますので、当然近くで大きな音を出された場合、近くの市民からの苦情等の制約があると思いますが、我々の課としては市の施設の中であれば、協力できるところは積極的に、前向きに相談にのっていきたくと考えております。</p>
飯嶋委員	<p>沢山の資料の説明していただいて、メディア、映像での効果というのは非常に高いと思います。例えば、オーケストラがテレビに登場することによって非常に沢山のの人にアピールすることができる。書面より、映像的なもののアピールは非常に強いので、そういうところも活用していければいいと思います。</p>
森委員	<p>Facebook の話を少しされましたが、あれは面白いですね。もちろん茨木市の市民の税金で運営されているわけですから、市民により重点的に施策をされるのはわかるのですが、Facebook になりますともはや地域など関係なくなりますよね。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
飯嶋委員	<p>関西圏で一番地域づくり、街づくりの先進地は篠山市です。篠山市はソフトハード街づくりの最前線であり、あそこの市の担当はほぼ毎日フェイスブックで自分自身のプライベートも含めて画像や映像と一緒に投稿している。</p> <p>反応がもの凄く良く、「いいね！」の数も多数あります。</p> <p>以上のようにフェイスブックの活用はこれからの時代、すごく価値がある。特に若い世代には映像や画像を載せたりして非常に反応が良い。フェイスブックはこれからもっと使えると思う。市民でなくてもおもしろいことがあれば反応するでしょう。頭の隅には日本の中の茨木市をアピールしていくことを置いていけばと思う。</p> <p>私もフェイスブックをやっています。長野県伊那市では、季節ごとに様々なアピールを行っており、その情報が頻繁に入ります。すると、受け手としては行ってみたいなという気持ちになります。ですので、ぜひ活用すればよいと思います。</p>
まち魅力発信課	<p>今年度からフェイスブックを積極的に活用しておりまして、市内の方だけでなく市外の方にもアピールできるよう発信しております。ただ、悩みどころがあり、一般の行政施策、市民サービスの部分が目立たなくなってしまうため、使い分けを考えてやっていかなくてはならないと感じている。昨年までは1課1投稿という形で「やってください」というスタンスだったが今年になり、「いいね！ランキング」を庁内で打出し、「いいね！」の多かった投稿に順位をつけ競争心を燃やす形にしている。</p>
松本委員	<p>昔からあるテーマではあるが、いろんな立場の人がいるので枠組みをある程度取っ払っていくということも考えていかないといけないと思う。</p> <p>もう1点、市職員のヒアリングをしたということですが、結果的には職員の魅力に対する意識はどんなものであったか。</p>
まち魅力発信課	<p>会議ではなく、直接お会いして話をし、担当課の取組を聴きました。直接顔を合わせて話をしたことで、互いの理解が深まり、互いに応援しようという気持ちになったと思います。その他、掲示板にもロケ誘致の情報を載せるなどしている。「こんな場所はありませんか」という条件が厳しいものもあるので、なかなか集まらないかと思っていたが、最初は5～10</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	件、最終的には100件ほど来た。皆さんの魅力を発信するという気持ちが変わってきたのではと感じる。
松本委員	市の中の職員としては意識ができているという認識でよいか。
まち魅力発信課	始まって1年経っていないが、手ごたえを感じている。
松本委員	市の職員が共有して意識を持っていないと聞く場所によって認識が違うのでは困る。様々な人がいるので、一朝一夕ではできないが、徐々に意識統一をしていけばと思う。
山野委員	<p>市民の方が茨木というものを実感していないのではないかと感じる。ほとんどの方が茨木の魅力をあまり知らない。たとえば、これからを担う世代の子どもたちに茨木の魅力を教え込んでいくということをする、将来的に反響が出てくるのではないかと思う。観光協会は毎月、観光ウォークというものを行っている。1月の寒い時期でも70人もの方に参加していただいている。参加者の2/3が市内の方、1/3が市外の方であった。シュヴァルツヴァルトのような風景が見れるのかと思ったが、山間部の手入れができておらず立ち枯れの木がたくさんある状態だった。貴重な財産であるのに、非常にもったいない。</p> <p>以上のような隠れた魅力はあちこちにある。魅力発信では表面だけの魅力ではなく、今後いかに魅力を作っていくかという長期的な視点で考え、それをまとめていただくような活動をしていただければありがたい。</p> <p>もう一つ、茨木フェスティバルなど大きなイベントも良いが、小さなコミュニティで音楽祭など地域で行うこともひとつの文化であると思う。そういう素地が備わって、「行ってみたい」という良いコンサートができる。そのために市民のレベルを上げていかないと「みんなが楽しい」状態にはならないと思います。一部の方が楽しい文化振興であってはならない。</p>
後藤委員	何点か質問です。カレーのイベントというのは茨木の特産品とカレーが関係あるのですか？
まち魅力発信課	関係ありません。総持寺で始まったイベントで、参加者はカレー情報を投稿し、参加者はその日にカレーを出すというシンプルな参加条件で、と

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
後藤委員	<p>てもイベントとしてのハードルが低いものです。100店舗近くが参加され、参加者の皆さんも楽しんでいました。</p> <p>ツールとしてのカレーということですね。では、茨木のこれという特産品はなんですか？</p>
まち魅力発信課	<p>農林課で推しているのは、三島の赤紫蘇があります。野菜だけでは農家の利益が上がらないので、付加価値をつけるために紫蘇を使ったサイダーを作ってみたり、追手門学院大学と連携してあんぱんに加工してみたりという工夫をしている。</p> <p>ほかには「大甘青とう」という唐辛子の青くて大きいものも頑張っています。また、スイーツの方向でサツマイモの名産品化の動きもあり、「宙いもプロジェクト」という名称で行っている。</p>
山野委員	<p>農業際に行くとそのような素晴らしい農作物が展示されています。</p>
後藤委員	<p>せっかくあるのであれば、もっと見えるようにすればいいのではと思います。私も知らなかったのです。</p>
出口委員長	<p>シティプロモーションの課ができたことは、我々文化振興の立場からもすごくありがたいです。魅力発信に力を入れていることはとてもよくわかりました。ただこれは全国で初めての試みではない。後追いであるのであれば、なんでもいいのでぜひ「日本初」を目指してほしい。</p> <p>具体的な目標としてはまち魅力発信課の職員さんが全国の自治体から引っ張りだこで動き回っていてこういう場で話す時間がないという状態を目標にし、一番を目指していただきたい。たとえばロケーションの件についても最初ではない。こういうものは最初にしたところがあるからみんな真似するのであって、せっかくソーシャルの時代なのでまだまだ有識者やいろんな団体とやっていくということをすればその中からもっといろんなアイデアが出てくると思います。ひとつでも「日本初」があるというのはすごく大事なことです。</p> <p>二つ目は、先ほどから話に出ている茨木の住民との関係について、たとえばソーシャルの部分でフェイスブックと、旧来の住民との関係、であれば対象者は誰なのか。市の住民、市内の事業所に対してだけ何かをすると</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>いう固定観念があると思う。この根源はなんであるのかを調べてほしい。</p> <p>「受益と負担」との関係は当然ある。これは消費税が誕生することによって従来の考え方は完全に崩れるわけです。茨木に来て茨木で買い物した方は茨木市に税金を払っているということ。そうすると、従来の市内の住民や事業所のみサービスを行うという考え方は、根源的な根拠が崩れてくると思います。</p> <p>それと同様に、SNS など新しいものが出てきている中で、茨木独自の日本一を理論づけて提供するというの是一年ぐらいかかると思うが、できると思うのでぜひやってほしい。そうすると、自ずと文化が振興されるので、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>まち魅力発信課の職員もこのあと公務があるため退席いたします。</p>
出口委員長	<p>それでは次の案件についてお願いします。</p>
事務局	<p>続きまして、文化芸術推進市民会議について進めます。前回は第1回市民会議の結果についてお知らせしました。その委員会ののち、11月26日午後より第2回茨木市文化芸術市民会議を開催しました。第1回同様今年度の大きな目標としては、会議を立ち上げ、文化関係団体、大学、商工会議所、観光協会、文化振興財団等に交流していただき、意見を求めることを目的としておりました。進行も第1回同様ワークショップ形式で行いました。今回は第1回で出たキーワードを使用し、テーマとして各班話し合いました。来年度以降もこの取り組みは内容を充実して継続していきたいと事務局で考えております。</p>
出口委員長	<p>一言ずつお願いします。</p>
後藤委員	<p>これまでの話を聞いて、今は耕している段階だと思いますが、次の勇気ある一歩を進めていただきたい。昨年、一昨年から私たちも茨木の魅力を知り、茨木のことを探って行って、小さなところから進めていっていますが、このペースで行くと何年かかるのかと感じてしまう。せっかくだいいことをしているので、勇気を出して進めていただきたい。また、茨木の「ここが好き」ということを住民単位で各個人が言っていないのではと思う。遠慮がちにならず、言っていけばいいと思う。川端康成文学館にしても、</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山野委員	<p>世界に誇れる施設なのにひっそりとやっている感じに見える。</p> <p>これだけ芸術文化にかかわる人たちが一堂に会するのは初めてじゃないかと思います。市民会館の閉館は、文化に関わっている人も不安だと思う。何を置いても早急にどうするか出さないとおかしいんじゃないかと思います。文化のまちですから。</p>
松本委員	<p>文化芸術推進市民会議という名前だが、中身を見たところどこに文化芸術が出てくるのかなと思いました。集まって、交流して、そこから何かが出てくるということもあるとは思いますが。しかし、せっかくテーマを絞っているのであれば、内容を文化芸術にもっと工夫されたらよかったですのではないかと思います。</p>
森委員	<p>レポートが印刷物になっているが、どのように利用するんですか？せっかくここまでやっているので生かされて反映されていくという部分が見えてこないと私たちは少しさびしいですね。</p> <p>もう一点、山野委員が話されましたが、どうしても行政では動員数や参加者数といった「数」に非常にこだわってしまうが、小さなグループの小さな活動が積み重なって大きな動員につながるわけであるから、そういう意味では市民会議は小さなグループ活動ですね。ですから、こういうものを大事にさせていただいて、大きくいろんなところに影響を与えていくようにするにはどうするかという部分をきちっと戦略を作っていただくのが大事ではないかという気がいたします。</p>
飯嶋委員	<p>一つずつテーマを決めて少しずつ解決していくことは非常に印象に残っています。1回ごとにテーマを深めていき、毎回同じことも言っているのではないので回を重ねるごとに少しずつ深めていくことができるのではないかと思います。</p>
安藝委員	<p>まち魅力発信課のワークショップにも参加しておりまして、そこでは年齢制限があり、50歳以下の方30名が参加され、みなさん熱心な方ばかりだった。そこでイベントの情報がわからないだとか、もっとたくさん茨木のことを知りたいという話題が皆さんから出ました。もっと発信したいという方も多かったので、そういう方を巻き込んで何かできないのかと思</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>う。やはり市民会議は年齢層が高いので若い人も取り入れていただきたいなと思います。市民会館の壁は真っ白の囲いでおおわれていると思いますが、今やっている HUB-IBARAKI の作品は文字がテーマなので、なにか利用してできることがあるのではと思いました。</p> <p>若い人の意見という部分について、来年度にむけて開催日等参加しやすい日を含めて検討する。市民会議のレポートの反映という部分、情報提供という意味ではホームページ等に公開しこういうことを進めているということ公開しております。また、事業評価をする際に参加者が何人であったということは指標として必要な部分である。しかし、今後の指標として「数」以外の部分も見ていかなければと思う。たとえばまち魅力発信課の説明であったようないいねランキングに参加して反応をみるなども考えている。そういった取り組みと連携して膨らませていければと考えています。</p>
出口委員長	<p>文化振興ビジョンの取組の大きな提案の一つであります。現在種まきの段階でご参加いただいた市民の方々にこの場を借りて深く感謝したい。</p> <p>いずれどういう形になるのか今は見えないかもしれませんができるだけ多くの方、特にフェイスブックなどで広がっていけば、市民側からもいろいろな提案があると思いますし、市民団体のほうがこういったものを主催するというのも出てくるかも知れません。そういったものを待ってみたいと思います。</p> <p>それでは次の案件について事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>福祉文化会館耐震診断ほかについて説明</p>
飯嶋委員	<p>福祉文化会館は市民会館の約 10 年後に建っている。耐用年数を考えると、あと 10 年後には今の市民会館と同じように経年劣化により、いずれは壊さないといけないということが印象としてある。阪急東口のホール建設の話があるが、一時は市民会館と福祉文化会館、養精中学校の一部を削らないとホールが建たないという話がありました。市の中心部分にできるのであれば、基本構想からは外れてしまいましたが、捨てがたい場所だと思っています。</p> <p>いずれ福祉文化会館は取り壊して何らかの形になると思いますし、市民</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
安藝委員	<p>会館がどのような形で再生していくのかそのあたりも非常に興味がありまして、市民会館跡地が何になるかによって、阪急と JR の駅のちょうど中心にある、JR と阪急の駅は一本でつながっているようで、意外と別れてしまっているようなイメージがある。その真ん中に市民会館の代わりになるようなものがちゃんとできるのか、阪急の東側であればそこに導線ができるのか。なぜそんなことを考えるかという、街中では今ドーナツ現象というものが起きている。市民会館がぽこんと無くなるのはドーナツのように真ん中が空洞になっている。そこに風通りの良いストリート、動線を作ることで、商店街も含めて活性化していくのではないかと思います。こういう意見も今後こういう話があった際には思い出していただければと思います。</p> <p>バリアフリーという話が出たが、福祉文化会館には授乳室がない。5階に文化ホールがあり、なぜか4階が楽屋。となりが社会福祉協議会。3階の302号室で音楽ができるようにということで、グランドピアノ等設置していますが、音を出すと、2階1階の水道部に音が筒抜けになる。苦情が来たらやめる、コンサートをやめるというのは考えられないですが、そういう状況になっています。ドリームホールの代わりということで302号室に音楽設備を設置したが、運用としてはちょっとどうなのかなと思う。</p>
出口委員長	<p>どうもありがとうございます。いずれにしてもこういったことに関しては議会で意見をしていく話になりますので、この委員会として言うべきことがあればもちろん言っていきますし、具体的な話があれば議会等へのパブリックコメントなどのルートを使ってご発言していただくということもあると思います。</p>
飯嶋委員	<p>補足ですが、今おっしゃっていた福祉文化会館302号室で、サロンコンサートを市民会館が無くなった分を移動してきています。ほかで会議をしていて、音が出て具合が悪ければ中止するということが非常にネックになっている。我々がやる時は現状そのフロアをすべて借り切っていますが、それでも毎回心配しながらやっている。</p> <p>また、福祉文化会館ホールの5階に関して、楽屋が下の階であるということや楽器が持ち上がらない、エレベーターが使えないという問題もあるので、ぜひリニューアルをお願いしたい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>福祉文化会館の件については現状がベストとは当然思っておりません。耐震診断による危険性が市民会館より低いということであったり、代わりの会議室等がないのですぐに閉めてしまうと使っていただけないという影響が出るという色々な事情があるためです。ですので、当分の間は福祉文化会館を使うという形で考えています。</p> <p>安藝委員が仰っていただいた市民会館の囲いにハブイバラキアートの作品をとのご意見ですが、当然事務局としても検討しましたが、募集と作家決定のタイミングや、外であっても耐震問題で閉館している市民会館の囲いに作品というのは安全性が確保できないなどの問題があるため候補には入れておりません。</p>
出口委員長	<p>ありがとうございました。それでは、案件4にその他とありますので、何か意見があればお願いします。</p>
飯嶋委員	<p>市民会館のシンボルという話をさせていただきたい。12月26日に市、文化振興財団、音楽芸術協会の主催で「ありがとう大ホールファイナルコンサート」というものを開催させていただきました。この催しには茨木市合唱連盟、少年少女合唱団など音楽に関わる人たちに声をかけましたら、ほとんどの方が快諾された。そしてぜひ市民会館とみんなでお別れしたいという企画でした。当日は出演者350人、観客席も超満員という3時間に及ぶコンサートでした。一番最後に観客も一緒に蛍の光を合唱し、歌声が響いて別れを惜しんだわけですが、そのときにこんなにみんなが市民会館を愛していたんだなとすごく胸が熱くなりました。同時に市民交流の場としての市民会館が一刻も早く誕生してほしいという印象を受けました。</p>
出口委員長	<p>ほかによろしいでしょうか。事務局から何かあればお願いします。</p>
事務局	<p>お配りした資料にチラシをはさんでおります。川端康成文学館長よりお話ししました川端康成と少女小説のテーマ展示を開催しております。また、ハブイバラキアートの展示も2月15日より始まっております。こちらはクリエイトセンターの壁面に設置しております。3月には少年少女合唱団の定期演奏会が開催されます。文化振興財団の事業チラシも配布しております。機会があればご参加いただければと思います。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>今年度の文化振興施策推進委員会は今回で最後です。委員の皆様ありがとうございました。来年度につきましては文化振興ビジョンの推進につきまして、具体的な計画についての審議、市民会議も含めて検討していますので宜しくお願いいたします。</p>
飯嶋委員	<p>市民会館について、阪急東口の検討は次回までに決定しているであろうという話でしたが、現在の進捗はどうでしょうか？</p>
事務局	<p>東口のホール検討についてはこの委員会でも専門部会を開き建設基本構想を策定しました。現状ではその段階から進んでいません。立命館いばらきフューチャープラザの利用状況や阪急西口の再開発や JR 駅前の開発などもあるので、そういったことを含めて検討していこうという状態で、具体的に何かが決定したということは現時点ではございません。</p>
飯嶋委員	<p>今の基本構想からすると、我々もホールというものに非常に情熱を燃やしてできた時の構想を練っておりますので、できるとなればよりやる気が出ると思いますので宜しくお願いします。</p>
出口委員長	<p>これまでの阪急東口の検討の話でも、立命館大学ができるということが大きく、立命館の施設で代替機能があるのではないかと期待があるから決定を遅らせようというご説明がありましたが、その代替機能の現状がどうであるのかということを知りたい。大雑把な回答でもいいので記録しておきたいと思います。</p>
事務局	<p>数字については即答できませんが、これまでも意見があったように、利用がしにくい、日程を押さえられないという話を伺っております。そのあたりの窓口は現在政策企画課となっており、そちらが立命館大学と調整しているところであります。</p>
飯嶋委員	<p>そのことによって、土日がほとんど空いていないという状況で、市民団体が高槻など近隣市の施設に流れていってしまっている。これは危惧すべき問題である。条件が緩和されて利用ができる状態になればと思うが、あそこはブラスバンドの活動で練習に使っていて、これから演奏会にむけてなど非常にハードに練習していくと思われる。それを考えると夏ぐらいま</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>で毎日使うのではないかと思う。ですので、十分利用について検討していかなければこれから問題が起こると思います。</p> <p>3月に定期演奏会を行う少年少女合唱団の団長ともお話ししたが、いくつか問題があります。駐輪場が限られた場所しかない、駐車場の数がない上に高い、ロビーにお客様を誘導する際にここに並んでもらっては困るということ、楽屋の使用は必須だが、別料金で借りなければいけないうえに高いといったことがしんどいという話を聞いている。その件に関してもいい方向へ向いてほしいと思っています。</p> <p>どうもありがとうございました。委員の皆様、この一年間ありがとうございました。</p> <p>それでは本日の会議を終わらせていただきます。</p>